



ボラセン Guide

ボランティアの相談・紹介

「活動したい人」と「活動をお願いしたい人」の想いをつなげるお手伝いをします

普及啓発・情報収集・提供

ボランティアの啓発、活動に関する情報収集と提供をします

人材育成

入門講座をはじめ、傾聴や保育、ドラムサークルなど、様々な講座を展開しています

活動支援

ボランティア登録、保険、助成金制度、会場・印刷機・備品の貸し出し等のサポートをします

ネットワークづくり

個人、団体、施設等のつながり、連携調整などのネットワークづくりを進めています

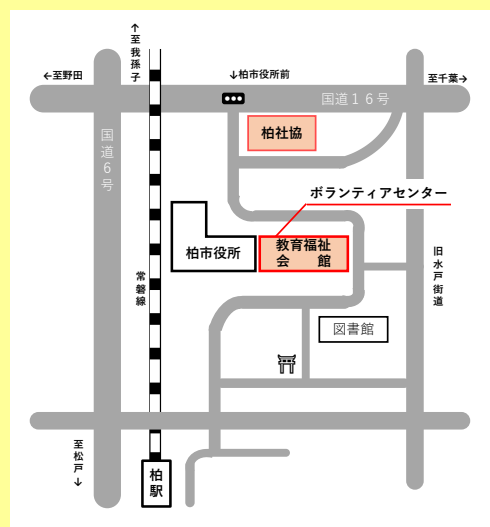
ボランティアで
人生をもっと
オシャレに!?

ご相談
ください

ボランティア
コーディネーター

ボランティアセンターには、活動したい人と活動をしてほしい人をつなぐボランティアコーディネーターがいます。

どんな活動が自分にできるのか探している人。活動中の困りごとの相談。ボランティア募集をどのようにしたらよいかなど、ボランティアならではの力が発揮できるよう調整するスタッフです。いつでもご相談ください。



月～金 (土日・祝日・年末年始を除く)

9:00～17:00

〒277-0005 柏市柏 5-8-12 教育福祉会館 3F

Tex 04-7165-0880 Fax 04-7165-1355

Mail kvc@kashiwa-shakyo.or.jp



活動への 方法

まずは 相談してみる

▶まずは相談してみる

「活動したいけれど・・・」という方は、コーディネーターがご相談をお受けします。

▶講座に参加してみる

「まずは体験してみたい」という方には講座の参加をおススメします

▶登録して活動してみる

「具体的な活動へ」という方には個人・団体ボランティア登録をおススメします。

個人ボラ

ボラ グループ



▶個人登録ボランティアになると？

- ・ライフスタイルに合わせた活動が可能です。
- ・仕事や家事等の合間を活用して活動できます。
- ・イベント支援や保育、施設等のボランティア活動などの紹介をさせていただきます。
- ・ボランティア保険に自動的加入となります。

▶登録ボランティアグループになると？

- ・登録ボランティア情報やホームページに掲載されます。
- ・ボランティア保険に自動的加入となります。
- ・ボランティア室が使えます。(要予約)
- ・活動助成金の申請ができます。
- ・ボランティア募集などができます。

通年ボラ冊子で 活動探し！



心構え

活動する前に 確認を！

ボランティア活動は、誰でもはじめられることですが、ある程度の責任も伴うものです。

お相手の方とより良い関係でいられるように、またご自身が無理なく続けられるために次のようなことに気をつけましょう。

▶無理をしない

たくさんの活動をしてしまうと、生活や体調を崩し、活動ができなくなる事態も考えられます。無理のないスケジュールで活動しましょう。また、出来ないことは断れる活動先との関係が築けるとよいでしょう。

▶自己満足だけで終わらせない

善意の押しつけにならないよう、「してあげる」ではなく「させてもらっている」といった謙虚な気持ちが大切です。

▶相手の方の自立を考えて

出来ないことをサポートするのは大切ですが、相手の方ができることまでやってしまうのはどうでしょうか？見守ることやその方に必要な手助けが分かっていくとよいでしょう。

▶約束や秘密を守りましょう

約束や活動のルールは必ず守り、活動で知り得た個人情報などはむやみに話さないなど、一般的なマナーも心がけましょう。

▶悩みを抱え込まないで

トラブルや困ったときは一人で考えず、スタッフの方など周りの方に相談しましょう。ボランティアセンターのコーディネーターは、みなさんの活動を応援しています。活動で困ったことがありましたらご相談下さい。

▶周囲の理解を得る

活動する上で、ご家族に協力してもらうこともあるかもしれません。活動について話しておきましょう。



ボランティアをお願いしたい！

ながれ なるべく早めに (2ヶ月前)

▶依頼内容をボランティアセンターへ

- パソコンのある方
ホームページから依頼票をダウンロード。
必要事項を入力して、ボラセンへメール。
ボラセン kvc@kashiwa-shakyo.or.jp
- パソコンのない方
ボラセンへお電話ください

▶コーディネート完了後、ご連絡いたします

調整結果をボラセンより連絡いたします。
依頼者から、ボランティアへ確認と当日の詳細について、ご連絡をお願いします。

福祉施設 へのお願い

依頼票を 作成して メールください

▶ホームページから依頼票をダウンロード

柏市社会福祉協議会 H P
<http://kashiwa-shakyo.com/>
ボランティアセンターから依頼票ダウンロード。

▶依頼票に必要事項を入力してボラセンへメール

ボラセン kvc@kashiwa-shakyo.or.jp
※メールのタイトルに「ボラ依頼」と入力

福祉施設 の みなさまへ

ボランティアの 依頼や受け入れにあたり 大切なこと

▶ボランティアを受け入れるメリットとは

- ・福祉施設などでは、利用者の生活の満足度やサービスの向上につながる。
- ・外部に働きかけ、橋渡しをしてくれる。
- ・新たな気づきが生まれる。
- ・無償であるからこそその信頼性。
- ・組織に縛られない自由な発想があるなど。

▶Win-Winを目指す

活動をとおしてボランティアがいきがいを感じ、受け入れ側はボランティアが活動したことで効果を得る。そのようなお互いが対等な関係であることをめざしましょう。

▶受入の心構え、準備していただきたいこと

- ・ボランティア受入担当者（調整者）を配置していただくと調整がスムーズになります。
- ・ボランティアの存在や依頼内容など、担当者だけでなく、職員間で情報を共有してください。
- ・活動における注意点や活動内容の確認など事前にオリエンテーションを実施して、共通理解を図ってください。
- ・ボランティアの控室や休憩場所などを確保していただくと気持ちよく活動ができますのでご協力ください。
- ・ボランティアは、無償の労力ではありません。職員の皆様も可能な限りのサポートをお願いします。
- ・気持ちよく活動していただくために、感謝の言葉や労いの言葉など、こまめな声かけをお願いします。
- ・継続して活動していただくためにも、活動終了後はお茶等を提供し、活動の振り返りをお願いします。
- ・ボランティアの依頼については、余裕をもって2ヶ月前にはご連絡をお願いします。
- ・ボランティア活動終了後は、電話やお手紙等でボランティアへ直接お礼を伝えていただくと今後につながる関係性が生まれます。

ボラの基本

活動の原則

ボランティアは「活動の4原則」で説明することができます。

▶自発性

強制や義務ではなく、自主的に積極的に行う。

▶社会性

自分の為ではなく、周囲の為に行う。

▶無償性

対価を求めない。

出会いや感動、いきがいを得るもの。

▶創造性

より良い方向へと考え創っていくもの

ボラの 良い点

いいところ

▶喜び

ボランティアをすることで、やりがいや喜びを感じられる。

▶輪が広がる

たくさんの出会いから自分の輪が広がる。

▶発見

自分自身の新たな発見ができる。

▶生活リズム

上手な時間の使い方で、生活のリズムができる。

▶広がる視野

社会を見る目が変わる。視野が広がる。
ボランティアにはたくさんのいいことがあります。

社会福祉法人 柏市社会福祉協議会 × Oto + machi

柏市社会福祉協議会では、(株)ヤマハミュージックジャパンとの連携により、ドラムサークルという“音楽”を活用した「人づくり」「地域づくり」に取り組んでいます。



ドラムサークル とは？

ドラムをたたく人が輪(サークル)になって、指揮者のような人(ファシリテーター)を中心に輪になった人がリズムを合わせてドラムをたたく。子どもから高齢者まで、みんなで一緒にできる非言語コミュニケーション。

参加者が孤立しないよう、気を配りながら進めることで、更に楽しさや共鳴する効力を引き出すことのできるファシリテーターを育成しています。

びーとびと プロジェクト

災害 ボラセン

▶災害ボランティアセンターとは

災害が発生した際、全国から集まってくださるボランティアを効率よく復旧・復興支援につなげるために柏市社会福祉協議会では、『災害ボランティアセンター』を開設します！

▶災害ボラコーディネーターを養成しています

災害ボランティアセンターを運営するコーディネーターを毎年度養成するとともに、訓練を実施しています。

